

豊かなICT社会実現のために ● 協会の皆さまとつながる全携協(NAMD)の会報誌



はばたき

一般社団法人 全国携帯電話販売代理店協会 正会員148社・準会員362社・賛助会員11社 (2019年12月1日現在)
http://keitai.or.jp/ お問い合わせ E-mail ●https://keitai-or.jp.sslwww.jp/contact

第5号



楽天モバイル株式会社 山田 善久氏 × 全携協 澁谷 年史

特別対談

モバイルネットワークの 完全仮想化により お客さまの利便性向上へ

全携協会報誌『はばたき』のトップインタビューシリーズも第5回を迎えました。今回のゲストは、2019年10月、MNO事業への新規参入を果たした楽天モバイル株式会社代表取締役社長 山田善久氏です。楽天モバイルが目指すMNO事業の特色から、5Gという携帯新時代をにらんだ今後の展望などについてお話を伺いました。



澁谷会長(左) × 山田社長
2019年10月18日 楽天本社役員応接室にて

楽天エコシステムを支える プラットフォームとして

澁谷 楽天さんには私たち販売代理店の立場としてお聞きしたいことがいろいろあるのですが、消費者の方たちも今こういう状況でどこへ向かおうとしているのか大変興味がありでしょうから、今日はその辺のところをいろいろとお聞きできればと思います。よろしくお願います。

山田 よろしくお願います。

澁谷 まず2014年からMVNOとして楽天モバイルをスタートされて、2019年MNOサービスを開始されるわけですが、この流れは予定通りだったのですか。

でしょうか。

山田 いえ最初から明確にそう考えていたわけではありません。サービス規模を大きくしていくならMNOは選択肢ですが、そこへいくには電波割当てという大きなハードルがありましたので。それが2018年に4G最後の割当てが実現し、MNO事業者として認定されました。行政としてはそれまでの3社から4社体制にして、より競争を促したいという意向があったのかもしれない。

澁谷 MNO事業者として楽天モバイルの考え方を聞かせください。

山田 第一は消費者の利便性の最大化。そして楽天グループのサービス間のシナ

ジー最大化と楽天ならではの総合的サービスの提供です。

私たちはもとより楽天市場から始まって、それをベースにトラベル、カード、銀行ほか70以上のサービスを共通ブランドとして提供しています。それらのサービスでできる限り共通の会員IDとポイントを使えるようにしたのが楽天エコシステムです。信頼性と質の高いこの総合的サービスを利用していただくことで、楽天スーパーポイントを増やそうとすることができ、MVNOですでに実施していますが、もちろんMNOの携帯利用料金もポイントで支払えるようにしたいと思っています。楽天カードはおかげさまで日本一の加盟者数になりましたが、携帯電話事業はそれに並ぶ楽天グループ全体のプラットフォーム的な位置づけにしたいと考えています。楽天エコシステムの中でお客さまに最大の利便性を提供させていただく。逆に私たちの側から見れば、今後新しいサービスを提供する場合にも、そのシステムの中で展開します。で、ユーザー獲得コストを下げられますし、またその分をお客さまに還元していきます。これが私たちの最大の強みだと考えています。

総務省から認定されたのは楽天モバイルで、もちろん私がその責任者なのですが、この事業をグループ全体のプラットフォームベースにしようということで、基地局の建設などでもいまグループ総出で取り組んでいるという状況です。

「モバイルネットワークの民主化」 実現に向けて

澁谷 御社のMNO事業の最大の特徴は、やはりネットワークの完全仮想化です。よね。

山田 はい。まずその前提として私たちにあってこういう形のインフラ事業というのは初めての試みです。携帯電話というのはすでに社会インフラで、そこには当然大きな社会的責任が伴う。これが果たせなければ事業者としての資格がないという事です。このことは機会があるたびに社内でも口を酸っぱくして言っています。

澁谷 今回スモールローンチでスタートしたというのも、キャリアとしての責任を考えて、ということなのですね。

山田 当然そうですね。ネットワーク仮想化はいずれ業界全体が進むべき方向だと考えていますが、非常にチャレンジングでもあり、万が一のことがあってはならない。慎重に慎重を重ね、今回スモールローンチからスタートしました。

仮想化というのは、通常専用ハードウェアで制御している基地局ネットワークを、仮想化レイヤー上にある独自開発のソフトウェアで制御しようというものです。ですから使用するハードウェアは汎用サーバーになり、専用機器は必要ありません。携帯電話サービスに必要な機能の全てをソフトウェアで実現しようという仮想化、特に基地局を含めた無線アクセスネットワークの完全仮想化は世界初の試みになります。ハードウェアに依存しませんから冗長性があり、障害時や災害時にすぐに代替が効く。汎用サーバーなので導入・運用コストが低く、新しいサービスを提供するときも迅速に展開できるわけです。

澁谷 それは当初からの計画だったのですか。

山田 業界が仮想化の方向へ進むだろうという話は以前からありましたが、まだ技術的に乗り越えるべき壁がある。特に無線アクセスネットワークの部分です。私たちがその点を内部で深く議論を重ねてきましたが、最後は楽天グループ全体のトップである三木谷の判断で「チャレンジしよう」ということになりました。無線アクセスネットワークに関しては、実績のある米国のアルティオスター社と業務提携して現在取り組んでいるところです。4Gから5Gへの移行に関しても、計算能力を従来以上に上げるなどの課題はありますが、基本構成は変わりませんのでソフトウェアのアップデートという形で対応できると思います。

澁谷 グループサービス間のシナジーを活かすということは、料金設定にも反映されるのでしょうか。

山田 料金プランはまだ最終決定していませんが、当然楽天エコシステムに入っているお客様が大きなメリットを享受できる形にしたいと思っています。現在の3社体制に新たに加わるわけですから、やはり既存の体制にはない強力なインパクトが必要です。料金プラン縛りなし、違約金0円、SIMロックフリーという、ユーザー第一という視点に立った自由度を拡大する方向で考えているところです。

もくじ

1 「特別対談」トップインタビュー
第5号ゲスト

楽天モバイル株式会社
代表取締役社長

山田 善久氏

モバイルネットワークの
完全仮想化により
お客さまの利便性向上へ

3 「特別企画」

子どもをインターネットの
危険から守りたい！
e-ネットキャラバン特集

4 「地域リレー座談会・九州編」

鹿児島県・南国産産(株)
大重 智様

熊本県・ジョウツウ(株)
後藤 英夫様

熊本県・(株)九州情報システム
岩永 信子様

全携協会長・理事
澁谷 年史

全携協理事(九州担当)
浦川 宏二

6 「特別取材」

5Gサービス体験レポート

7 シリーズ「5Gってなんだろう」
日本大学生産工学部 講師(非常勤)
杉沼 浩司

第3回 1日使える5Gスマホ

コラム「インフラ通信vol.5」
桐蔭法科大学院長 蒲 俊郎

パワハラ防止法が来春施行、
上司は部下を叱責できない？

8 地域意見交換会レポート

読者プレゼント

別刷り

1 「全携協活動Pickup」
●店頭販売サービス向上委員会

「全携協からのお知らせ」
各種イベント・研修のご案内
ハラスメント対策メール講座
総集編できました!!

2 全携協会員一覧